



☆
きかんし

ほくたい

北海道大学教職員組合機関紙

電話 011-746-0967(FAX 共通)／内線 2083・3994

URL: <http://ha4.seikyou.ne.jp/home/kumiai/>

大学の使命は

社会の持続的発展と 平和の構築に貢献！

このたび執行委員長に選出されました、松本と申します。教育学研究院に所属している教員です。よろしくお願ひします。専門は教育福祉論という分野で、貧困問題の分析を通して、教育と社会福祉のあり方を研究しています。学部、大学院と北大です。ふたつの私学で合計23年間の教員生活を送ったのち、7年前に教員として戻りました。

北大は長い伝統を持ち、数々の優れた研究を生み出してきました。ただ教員として勤めてみると、大学院生のころに垣間見ていた大学と、印象が変わっています。非常勤の事務職員さんが多くなり、皆さん多忙を極めておられます。期限付きの教員の増加と人事ポイントの削減による昇進人事のストップが重なって、研究者の流出が現実の問題となっているようにも思います。

大学の使命は、自由な研究とそれに支えられた教育を行い、社会の持続的な発展と平和の構築に貢献することです。現状が続くと、大学が大学でなくなるような危機感を持っています。大学での仕事が安定して、見通しとゆとりのあることが自由な発想と研究を生み出し、大学全体の活力を挙げていくと思います。そのために組合は貴重な存在です。

微力を尽くしますので、よろしくお願ひします。

執行委員長 松本 伊智朗

★新執行部からのメッセージ★

☆副委員長 中澤 祐一☆

副委員長を務めます中澤です。今の北大には沢山の課題があります。5年雇止めから無期雇用転換へ（対応なし）、教員人件費削減案（7.5%案を提示したのみ）、慢性的超過勤務、ハラスメントやストレスの増加（見て見ぬふり、形式的な対応のみ）などがあります。組合は、組合員が大学のためにも自分のためにも働きたいと思えるような職場をもてるよう、大学当局に働きかけていかねばなりません。微力ながら尽力したいと思います。

☆書記長 東山 寛☆

まず初めに、旧執行部の一員としても、新執行部の発足が遅れましたことをお詫び申し上げます。早くも来年の大会をにらみますと、およそ9ヶ月の活動期間となりそうです。

書記長をつとめるのは2度目となりますが、人間の身体に例えると「心臓」の役割を果たすことと自覚しており、組合活動をとにかく動かしていくことを最優先とします。

ただし、その分「頭脳」に欠けておりますので、みなさまのサポートをどうぞよろしくお願い致します。

☆執行委員 榎澤加里部☆

大学が大学としての使命を果たすためには、教職員が安心して働くことができることが大前提だと思います。そしてそのためには教職員組合は絶対必要であり、組合の役割の大ささを最近特に感じています。

私自身はこれまで班レベルの組合活動の経験しかなく、諸先輩方や仲間の皆さんのお力も借りていろいろと勉強させていただきながらになりますが、よりよい職場づくりのため微力を尽くします。どうぞよろしくお願いします。

☆書記次長 駒川 智子☆

職場委員は何度か経験があるのですが、この度、初めて組合の執行委員を務めさせていただくこととなりました。

私は教育学部の教員で、労働とジェンダーの研究をしています。研究と教育で得た知見を、北海道大学の労働条件と職場のあり方の改善に活かせるよう努めます。ご協力賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

☆執行委員 森田 俊雄☆

勤務先が札幌から遠い幌加内町です。そのため、地方からの声を伝えていきたいと思います。

昨年、長年の懸案事項だった待遇が一部改善されました。ただまだ、解決していきたい問題もたくさんあります。すぐには進展しない事もあるとは思いますが、できる限りのことをやりたいと思います。私は、非正規職員ですので、その立場になって問題の解決が少しでも進むよう微力ですが、頑張りたいと思います。1年間宜しくお願いします。



☆執行委員 深澤 達矢☆

昨年に引き続き執行委員を務めさせていただきます、深澤です。よろしくお願ひいたします。人件費削減や雇い止めなど切実な問題が山積している状態でポジティブな話題が少ない昨今ですが、悲観せず一歩一歩前に進めて行きたいと思います。そして少しでも明るい工学部、少しでも明るい北大を作り直すために微力を尽くしたいと思います。そうじゃないと学生だって大変です。そのためにもまず自分たちから明るい雰囲気を作っていくべきだと思います。



来年4月に希望者全員を 北大も無期転換に！ 全大教非常勤職員交流集会開かる！

先月の9月9日～10日までの2日間、京都大学を会場に「全大教非常勤職員交流集会」が開かれました。北大職組からは、執行委員の私と非常勤職員で組合員の高橋悦子さんが参加しました。労働契約法の改正に伴い、来年3月を経て4月から、5年を超えて非常勤職員として働く場合に、希望する者は全員、無期雇用に転換できるということになっています。

このことについては、一般的にも北大の職場においてもよく知られていないのが現状のようです。

集会の内容は、1日目が各単組でのこの問題での取り組み状況が報告され、一部の組合では、早めの取り組みで、当局から無期転換を勝ち取った事例も報告されました。2日目は、二つの分散会に分かれて、1日目の報告を受け各組合での取り組み状況を詳しく聞くことができました。

2日間通して参加して、取り組みが早い大学では、昨年の早い段階から非正規職員へのアンケート調査を行ったり、数回に及ぶ団体交渉を行った大学もいくつかあり、取り組みにより無期転換は可能だと感じました。それにしても、北大当局は非常勤職員の無期転換について、なんら意思表示がなく沈黙したままであります。北大当局がこの問題でどのような方針をもって臨もうとしているのか。そのことを問い合わせることのできるのは組合しかありません。早急な取り組みの必要があると痛感した次第です。

このまま、来年3月で雇い止めしていいのか！



正規職員と同じような仕事をしていながら、5年で雇い止めされる、待遇・賃金でも大きな相違があるのはどう考へてもおかしい。そう考へるのが「おかしい？」でしょうか。このまま、来年3月を迎えるわけに行きません！北大ではたらく沢山の非常勤職員のみなさんの5年雇い止めを撤廃し無期転換に！待遇改善を実現するに動き出しましょう！（北キャンパス班 村上 毅）



全大教非常勤職員交流集会に参加して

私は今年4月に北海道大学大学院医学研究院に採用され、教職員組合へは8月に加入しましたが、この度組合活動の一環として9月9日～10日の日程で全大教非常勤職員交流集会（京都）に参加させていただきました。テーマは「非常勤職員の無期雇用転換実現に向けて」ですが、関連して私たちの職種は雇用期間が5年ということで、求人に対しても優秀な人材の応募が少ない、あるいは優秀な人材の早期退職が多いとも聞きます。私も自身の現在の雇用に不安を持っていますが、今回他大学における非常勤職員の無期雇用転換に向けた計画が進行している状況をいろいろ勉強させていただきました。一日目の終了後、懇親会にも参加し、互いに教職員組合に加入した動機を聞き合うなど、楽しい時間を過ごすことができました。

（理学部班 高橋 悅子）



書記研修に行ってきました！

弘前市にて9/8（金）・9/9（土）の2日間、全大教北海道・東北地区2017年度書記研修会に参加させていただきました。1日目は弘前大学の山下梓講師の講演「性の多様性と人権～組合にできること～」。レズとゲイの団体が炭坑労働者とその家族を支援するために立ち上がった実話に基づいた映画「パレードへようこそ」を視聴。組合活動上、元気と勇気が湧く内容でした。また、LGBTについて考える貴重な時間となりました。2日目は各単組の現状や課題、非正規問題への取り組みについても報告がありました。組合員の減少に伴い財政難に直面している組合も少なくありません。北大職組においても組合員増員は急務だと考えます。

先輩書記さんのお話を伺い、勉強になる2日間でした。

（高橋書記）



○ くみあい関連日程 ○

- 10/21 全大教技術職員交流集会 13:00～東京・上野
- 10/23 挑戦！前文部科学省事務次官 前川喜平が語る教育
18:30～エルプラザ 参加費：500円
- 10/28 いの健センター北海道セミナー 10:00～17:00
北海学園大学豊平キャンパス
「働き方改革」を検証する
－健康で生き生きと働き続けられる社会を－
参加費：1000円
主催：NPO法人 働く人びとのくらしと
健康をまもる北海道センター
- 11/3-4 合同教研全道集会
9:45～札幌市教育文化会館、高校教職員センター等
<http://goken-hokkaido.jp/wp/>
- 11/11-12 全大教地区別単組代表者会議 13:00～北大
- 11/18-19 全大教医科系大学懇談会 13:00～18日12時 東京

魂のジブシーサウンド！
TENGO
コンサート

チャールダーシュ、剣の舞
映画音楽・ロシアンメドレー

日時：11月3日（金・祝）13:00 開演

場所：札幌市教育文化会館小ホール

会費：一般 ¥3500 会員 ¥3000

※ご希望の方：

組合員 村上まで（内9416）